



安積山

郡山市立日和田小学校

学校便り No.48

令和2年11月27日

文責：校長 伊藤孝行

11/25日和田中学校の部活動説明会



例年なら、6年生の子どもたちが中学校に出かけ部活動を見学した後、説明を聞いていたのですが、今年はそれができないため、中学校から先生がいらして、体育館で映像や資料を使って説明していただきました。子どもたちは、中学校の校長先生と部活動の先生を前にして緊張気味でしたが、熱心に話を聞いていました。卒業がまた一歩近づいた感じがした6年生の一日でした。

子どもたちが支える鬼滅の刃ブーム

1学期、七夕飾りを作ったとき、短冊に「鬼滅の刃になりたい!」と書いていた子どもがたくさんいて驚きました。恥ずかしいのですが、その時は「鬼滅の刃」はほとんど知りませんでした。その後、映画化され記録的なヒットを続けています。

子どもたちと「鬼滅の刃」について話すと、子どもたちは話が止まらなくなります。

「お母さんは1巻でギブアップしちゃった。残酷すぎるんだって。」

「ぼくよりお父さんがはまっています。」

「全巻、家にあります。」

「鬼だって、自分から鬼になったのではないんですよ。」等々

子どもたちを虜にする魅力は、竈門炭治郎の妹を思う気持ちや家族を失った悲しみを感じたり、鬼殺隊の親子愛や兄弟愛、友情に感動できたりするせいなのかと思いました。

確かに血がたくさん流れたり斬り合ったりする場面は残酷です。しかし、民俗学者の宮本先生は、東北地方では残酷という言葉を「自分の意思では

ないのに、そうってしまった」ことへの哀惜の意味で使っていたと述べています。

竈門炭治郎や鬼殺隊も好んで鬼を切っているわけではなく、鬼も鬼になりたくて鬼になったわけではない。そんなところも子どもたちなりに感じているのでしょう。

そういえば、今から10年前は進撃の巨人が子どもたちの間でブームになっていました。舞台は違いますが、雰囲気が似ているように思います。

絵本「いないいないばあ」が700万部突破!



ゼロ歳児から楽しめる赤ちゃん絵本の「いないいないばあ」が累計で700万部突破を突破したそうです。作者が松谷みよ子さんと絵が瀬川康男さんで1976年に出版されました。出版当時の絵は左側で、近頃では右側の絵本を多く見かけます。

顔を隠した熊や猫が、ページをめくると「ばあ」と顔を出します。赤ちゃんはキャッキョと喜びます。赤ちゃんはこの絵本を通して、表情の変わる面白さを感じ、読み聞かせをしてくれる人の愛情を感じるそうです。

子どもたちは、絵本が大好きです。お子さんが赤ちゃんの頃を思い出して、絵本を読んであげたらいかがでしょうか。

メールによる欠席連絡に感謝いたします。

今週より始めましたメールによる欠席連絡を早速多くの利用をいただき感謝申し上げます。

① メールは記録が残るため、聞き取りミスや記録のミスがなくなります。

② 欠席者多い日は、電話の場合つながりにくい時がありますが、メールにはありません。

多くのメリットがある、メールによる欠席連絡を、さらにご利用いただくようお願いいたします。